

別記様式（第3条関係）（表）

(表)

自動車事故報告書

国土交通大臣

殿

自動車の使用者の氏名又は名称

住所

電話番号

平成 年 月 日 提出

☆発生日時	年 月 日 時 分	☆ 路線名 又は 道路名	
天 候	1 晴れ 2 曇 3 雨 4 雪 5 霧 6 その他		
☆発生場所	都道府県 区市郡 区町村 番地		
☆当該自動車の使用の本拠の名称及び位置		☆自動車登録番号 又は車両番号	
☆当時の状況			
☆◆現場の略図（道路上の事故の場合には車線の区分を明らかにして図示すること。）			
☆当時の処置			
☆事故の原因			
☆再発防止 対策			
※備考			

(日本工業規格A列4番)

(裏)

事故の種類	区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
		転覆	転落	転外逸	火災	踏切	衝突	死傷	危険物等	車内	飲酒等	健康起因	救護違反	車両故障	交通障害	その他	
		☆発生の順															
	☆転落の状態	落差				m				水深				m			
		衝突等の状態		1 正面衝突 4 接触		2 側面衝突 5 物件衝突		3 追突									
	当該自動車の概要	☆車名	☆型式		☆車体の形状				☆初度登録年 又は初度検査年								
		事業用	1 乗合旅客 3 乗用旅客 5 一般貨物 (イ特別積合せ貨物 ロその他) 6 特定貨物				2 貸切旅客 4 特定旅客 7 特定第二種										
			自家用	1 有償貸渡し (レンタカー) 2 有償旅客運送				3 その他									
種別		1 普通		2 小型		3 その他											
		☆乗車定員 人				☆当時の乗車人員 人											
☆最大積載量				☆当時の積載量													
		kg						kg									
		kg						kg									
乗務員	許可等の必要性	制限外許可		1 有		2 無											
		特殊車両通行許可		1 有		2 無											
		保安基準の緩和		1 有		2 無											
	許可等の取得状況	制限外許可		1 有		2 無											
		特殊車両通行許可		1 有		2 無											
		保安基準の緩和		1 有		2 無											
	貨物の内容	1 土砂等		2 長大物品等		3 コンテナ											
		4 生コンクリート		5 危険物等		6 冷凍、冷蔵品											
		7 原木、製材		8 引越		9 その他											
	積載危険物等	運搬の有無		1 有		2 無											
種類		1 危険物		2 火薬類		3 高压ガス											
☆品名及び積載量又は放射能の量		品名 () kg、1 () Bq															
道路等の状況	種類	1 道路 (イ高速自動車国道 ロ自動車専用道路等 ハその他)															
		2 その他の場所															
	☆道路の幅員		m														
	こう配		1 平たん		2 上り		3 下り										
	道路の形態		1 直線		2 右曲り		3 左曲り										
	4 交差		5 つづら折り														
	路面の状態		1 乾		2 湿		3 積雪		4 氷結								
	警戒標識の設置		1 有		☆当該道路の制限速度		km/h										
	2 無																
	踏切の状態		1 遮断機付き				2 警報機付き				3 その他						
◆営業所及び運行等の状況	☆当時の運行計画	(発地・経由地・着地)															
	☆運送契約の相手方の氏名又は名称、住所等 (貸切旅客のみ)																
	安全性優良事業所の認定 (貨物のみ)		1 有		2 無												
	運送形態		1 下請運送		2 その他												
	☆荷送人の氏名又は名称及び住所																
	☆荷受人の氏名又は名称及び住所																
	◆乗客	☆危険認知時の速度		km/h													
		☆危険認知時の距離		m													
		☆スリップ距離		m													
当該自動車の事故時の走行等の態様		1 直進 (加速) 4 後退 7 左折 10 転回		2 直進 (減速) 5 追越 8 駐車 11 合流		3 直進 (定速) 6 右折 9 停車 12 その他											
道路上での事故の場合には事故発生地点		1 車道 4 路側帯 6 交差点 8 トンネル		2 歩道 5 路肩 7 バス停留所 9 その他		3 横断歩道											
死傷事故の場合には死傷者の状態		1 左側通行 3 信号無視 5 歩道通行 7 車の直前横断 9 飛び出し 11 路上作業 13 乗降中 15 自転車運転		2 右側通行 4 車道通行 6 横断歩道歩行 8 斜横断 10 酩酊 12 路上遊戯 14 安全地帯 16 その他													
車両の故障に起因する場合には故障箇所		1 原動機 (速度抑制装置を除く) 3 動力伝達装置 6 車軸 10 燃料装置 13 連結装置 16 窓ガラス 18 ばい煙等の発散防止装置 19 灯火装置及び指示装置 20 反射器 22 視野を確保する装置 (後写鏡、窓ふき器等) 23 計器 (速度計、走行距離計等) 25 内圧容器及びその附属装置 27 その他		2 速度抑制装置 4 車輪 (タイヤを除く) 7 操縦装置 11 電気装置 14 乗車装置 17 騒音防止装置 21 警音器 24 消火器 26 運行記録計													
☆氏名		才															
☆年齢		年 月															
☆経験年数		年 月															
自動車運転を職業とする者にあつては勤務状況		本務・臨時の別		1 本務		2 臨時											
☆事故日以前1ヶ月間に出勤しなかった日数		日															
☆乗務開始から事故発生までの乗務時間及び乗務距離		時間		k m													
☆最近出勤しなかった日から事故日までの勤務日数及び乗務距離の合計		勤務日数		日		乗務距離		k m									
損害の程度		1 死亡		2 重傷		3 軽傷											
シートベルトの着用状況		1 着用		2 非着用		3 非装備											
☆交替運転者の配置		1 有 (交替後の乗務時間及び乗務距離) 時間		2 無		k m											
☆過去3年間の事故の状況		(過去3年間の事故件数) 件		(最近の事故年月日) 年 月 日													
☆過去3年間の道路交通法の違反の状況		(過去3年間の違反件数) 件		(最近の違反年月日) 年 月 日													
☆過去3年間の適性診断の受診状況		1 有 (最近の受診年月日) 年 月 日		2 無 (適性診断受診場所)													
☆最近の健康診断の受診年月日		(最近の受診年月日) 年 月 日															
本務・臨時の別		1 本務		2 臨時													
損害の程度		1 死亡		2 重傷		3 軽傷											
シートベルトの着用状況		1 着用		2 非着用		3 非装備											
☆運行管理者		氏名		運行管理者 資格者証番号													
☆損害の程度		◆死亡		人 (うち乗客 人)													
◆重傷		人 (うち乗客 人)															
軽傷		人 (うち乗客 人)															
※事業者番号																	
※再発防止対策																	

(注)

- (1) ☆印欄は、具体的に記入すること。ただし、不明の場合は該当欄に「不明」と記入し、記入の要のない場合は該当欄に斜線を引くこと。
なお、欄内に記入し得ないときは、別紙に記入し、これを添付すること。
- (2) ※印欄は、記入しないこと。
- (3) ☆印欄及び※印欄以外の欄は、該当する事項を○で囲むこと。
- (4) ◆印欄は、事故が第2条第11号又は第12号のみに該当する場合には、記入を要しない。
- (5) 時刻の記入は、24時間制によること。
- (6) 「区分」の記入は、次の区分によること。
 - 1 転覆 当該自動車は道路上において路面と35度以上傾斜したとき。
 - 2 転落 当該自動車は道路外に転落した場合で、その落差が0.5メートル以上のとき。
 - 3 路外逸脱 当該自動車の車輪が道路（車道と歩道の区分がある場合は、車道）外に逸脱した場合で、「転落」以外のとき。
 - 4 火災 当該自動車又は積載物品に火災が生じたとき。
 - 5 踏切 当該自動車が踏切において、鉄道車両と衝突し、又は接触したとき。
 - 6 衝突 当該自動車が鉄道車両、トロリーバス、自動車、原動機付自転車、荷牛馬車、家屋その他の物件に衝突し、又は接触したとき。
 - 7 死傷 死傷者を生じたとき（9に該当する場合を除く。）
 - 8 危険物等 第2条第5号又は第6号に該当する事故
 - 9 車内 操縦装置又は乗降口の扉を開閉する装置の不適切な操作により、旅客（乗降する際の旅客を含む。）を死傷させたとき。
 - 10 飲酒等 第2条第8号に該当する事故
 - 11 健康起因 第2条第9号に該当する事故
 - 12 救護違反 第2条第10号に該当する事故
 - 13 車両故障 第2条第11号又は第12号に該当する事故
 - 14 交通障害 第2条第13号又は第14号に該当する事故
 - 15 その他 1から14までに該当しないとき。
- (7) 2種類以上の事故が生じたときには、「発生の順」の欄に発生の順に番号を記入すること。
- (8) 「転落の状態」の欄の「落差」は、路面から落下地点までの垂直距離とする。
ただし、水中に転落した場合で水深を記入する必要がある場合には、路面から水面までの垂直距離とする。
- (9) 「車体の形状」の欄は、道路運送車両法第58条の自動車検査証に記載されている車体の形状を記入すること。
- (10) 「積載危険物等」とは、次に掲げるものであって事故当時当該自動車に積載していたものをいう。
 - 1 危険物 消防法第2条第7項に規定する危険物
 - 2 火薬類 火薬類取締法第2条第1項に規定する火薬類
 - 3 高圧ガス 高圧ガス保安法第2条に規定する高圧ガス
 - 4 核 原子力基本法第3条第2号に規定する核燃料物質及びそれによって汚染された物
 - 5 R I 放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律第2条第2項に規定する放射性同位元素及びそれによって汚染された物
 - 6 毒劇物 シアン化ナトリウム又は毒物及び劇物取締法施行令別表第二に掲げる毒物又は劇物
 - 7 可燃物 道路運送車両の保安基準第47条第1項第3号に規定する品名の可燃物
- (11) 「許可等の必要性」及び「許可等の取得状況」の欄は、当該自動車の運行について次の許可等の必要性の有無及びその取得状況に該当するものを○で囲むこと。
 - 1 制限外許可 道路交通法第57条の規定による許可
 - 2 特殊車両通行許可 道路法第47条の2の規定による許可
 - 3 保安基準の緩和 道路運送車両の保安基準第55条の規定による基準の緩和であって、道路運送車両の保安基準第2条第1項、第4条及び第4条の2に係るもの
- (12) 「イエローカード」とは、当該積載危険物等の取扱方法を記載した書類をいう。
- (13) 「種類」の欄の「ロ 自動車専用道路等」は、自動車専用道路及び道路運送法による自動車道とし、「2 その他の場所」は、構内、営業所等一般交通の用に供しない場所とする。
- (14) 「道路の幅員」は、路肩部分を含む道路（車道と歩道の区別がある場合は、車道）の総幅員とする。
- (15) 「道路の形態」の欄の「交差」は、当該自動車前方30メートル以内に交差点があった場合とする。
- (16) 「運行計画」には、運行管理者が与えた指示を含むものとする。
- (17) 「運送契約の相手方の氏名又は名称、住所等」の欄は、事故を引き起こした当該一般貨切旅客自動車運送事業者と運送契約を締結した者の氏名又は名称及び住所を記載すること。運送契約の相手方が旅行業法（昭和27年法律第239号）第3条の規定による旅行業又は旅行業者代理業の登録を受けている者（以下「旅行業者等」という。）である場合には、氏名又は名称及び住所のほか、旅行業者等の登録番号を記載すること。
- (18) 「安全性優良事業所の認定」とは、全国貨物自動車運送適正化事業実施機関が、輸送の安全の確保に関する取組が優良であると認められる貨物自動車運送事業者の営業所に対して行う認定をいう。
- (19) 「下請運送」とは、貨物自動車運送事業者からの運送の依頼により行う貨物運送をいう。
- (20) 「荷送人の氏名又は名称及び住所」の欄は、事故を引き起こした当該貨物自動車運送事業者と運送契約を締結した荷送人のほか、事故の際に運送していた貨物に関して当該荷送人と運送契約を締結した者等の当該貨物の運送に関して運送契約を締結した全ての者を記載すること。
- (21) 「運送形態」の欄の「2その他」に該当し、かつ、当該運送が特別積合せ運送である場合には「荷送人の氏名又は名称及び住所」及び「荷受人の氏名又は名称及び住所」の欄は、記入を要しない。
- (22) 「過去3年間の事故の状況」の欄は、当該運転者が引き起こした道路交通法第67条第2項の交通事故に関して記入する。
- (23) 「過去3年間の適性診断の受診状況」の欄は、当該運転者の過去3年間の運転適性診断の受診の有無について、該当する事項を○で囲むこと。また、「適性診断受診場所」は、「最近の受診年月日」に受診した受診場所（又は受診機関）を具体的に記入すること。
- (24) 「最近の健康診断の受診年月日」の欄は、第2条第9号に該当する事故を引き起こした当該運転者が受診した労働安全衛生法第66条に規定する健康診断の最近の受診年月日を記入すること。
- (25) 「運行管理者」は、事故について最も責任のあると考えられる運行管理者のことである。
- (26) 「統括運行管理者」とは、旅客自動車運送事業運輸規則（昭和31年運輸省令第44号）第48条の2第1項又は貨物自動車運送事業輸送安全規則（平成2年運輸省令第22号）第21条第1項に規定する業務を統括する運行管理者をいう。

広島運輸支局整備担当 TEL 082-233-9169
FAX 082-233-7752

〔自動車事故速報〕															(第 報)					
運輸局管内										発信者:										
TEL										受信者:										
FAX										受 付:					年 月 日 時 分					
日 時	平成 年 月 日 () 時 分										天候:					道路名:				
場 所																kp				
種 類	転 覆	転 落	路外	火災	踏切	衝突	死傷	危険物	車内	飲酒	健康	救護	車両	他						
損 害	死 者:		人		重 傷 者:		人		軽 傷 者:		人		車両の損害: 破 ()							
事 故 当 事 者	1	事業者名							業 態 等		車 名・型 式・年 式									
	2	登録番号							運 転 者	年 齢	才	定 員	当時:	人						
										経 験	年	積 載 量	最大:	人						
事 故 当 事 者	1	事業者名							業 態 等		車 名・型 式・年 式									
	2	登録番号							運 転 者	年 齢	才	定 員	当時:	人						
										経 験	年	積 載 量	最大:	人						
道 路	幅 員	勾 配		直・曲の別			路 面 の 状 態			車両制限令の指定			路肩危険指定							
	m	平 坦	上 り	下 り	直 線	右 曲	左 曲	交 差	乾 燥	湿 潤	凍 結	積 雪 (cm)	有 無							
転 落	追 越 ・ 行 違 ・ 退 避 ・ 単 独										正 立・横 転・(乗 降 口:上・下)・逆 転									
	落差:		m		場 所:					水 深:		m		傾 斜:		度				
踏 切	種別:	第 種	幅員:	m		見通し:	m		勾配:	%		制限等:								
一 般 事 項	危険認知速度:		km/h		当該道路制限速度:		km/h		危険認知距離:		m									
事業者	所 在 地:								営 業 所		営 業 所 名:									
	代 表 者 名:										配 置 車 輛 数:					両				
運行管理者名								資格者証No.・生年月日												
事 故 状 況 (多重衝突事故の場合は、現場略図等を別紙に記載すること。)																				
指示事項									推定原因											
									備考											

運転者の健康状態に起因する事故等の調査事項表

別表2

1. 事業者

No.1

(1) 氏名又は名称及び住所	(代表者名)	
(2) 営業所の名称及び住所		
(3) 事業の種類		
(4) 営業所の運転者数及び車両数	名	両

2. 事故等の概要

(1) 発生年月日	平成 年 月 日 時 分頃											
(2) 発生場所												
(3) 道路の状況	① 道路名				② 幅員		③ 勾配					
					メートル		平坦	上り	下り	(度合)		
	④ 道路の形態					⑤ 路面の種類		⑥ 路面の状態				
	直線	右曲	左曲	交差	つづら折	舗装	未舗装	乾	湿	積雪	氷結	
(4) 車両	① 登録番号				② 車名		③ 型式			④ 年式		
										年 月		
(5) 運転者	① 氏名				② 年齢		③ 経験年数		④ 採用年月日		⑤ 選任年月日	
(6) 事故等の状況 (当日の運行状況含む)												
(7) 損害	死者数	人		重傷者数	人		軽傷者数	人				
	当該車両	万円					その他	万円				
	状況											
(8) 推定原因												
(9) 事故処理の状況												

3. 当該運転者に関する事項

No.2

(1) 健康状態の把握状況	① 健康診断の受診状況	
	② 注意事項精密診断(検査)の状況	
	③ 加療の状況	
(2) 勤務等の状況	① 最近1ヶ月間の勤務状況	
	② 乗務調整等勤務上の配慮の状況	
(3) 当日の点呼執行者及び関係者の所見等		

4. 当該事業者所属運転者に係る事項

(1) 健康管理の指導状況	講習会等の定期的な実施	有・無	パンフ等の配布	有・無
	その他 (具体的に)			
(2) 健康上の注意者の状況				
(3) 健康上の注意者に対する管理状況	定期的に疾病状況を把握し指導している	有・無		
	その他 (具体的に)			
(4) 健康上の注意者の勤務における配慮の状況				

5. 当該事業者における健康状態に起因する事故防止対策の現状と今後の改善策

6. 当該事業者における同種事故の発生状況(過去3年)

件 (件) 【注】 ()内は事故に至らなかった件数で内数とする。

別表3 車両故障事故報告書添付票

自動車検査証 の有効期間		年 月 日まで	
使用開始後の 総走行距離		k m	
最近における 大規模な改造	内 容		
	施行期日	年 月 日	
	施行者		
破損又は脱落部品名			
同上部品の名称		前 後	
		左 右	
当該部品を取付てから 事故発生までの走行キロ		k m	
当該部品を含む装置の 整備及び改造の状況		年 月 日	
		年 月 日	
		年 月 日	
破損又は脱落の状況 (略図又は写真)			
当該部品の製作者（不明 な場合は販売者）の氏名 又は名称及び住所			
疲労又は急進破壊の別			
材質、加工、設計等に対する意見			